



第八中学校・第十一中学校統合新校推進協議会

協議会だより







TOPICS 新校が目指す学校像等の協議を行いました

- 令和4年7月21日(木)に第十一中学校体育館で第4回協議会を開催し、通学負担の 緩和措置、新校が目指す学校像及び施設整備等について協議を行いました。
- 目指す学校像は、新校がどのような学校を目指していくのか、新校の教育の基本的な 方向性を示すものとなります。第4回協議会では、各校の教員と教育委員会で検討 を進めている目指す学校像の案を基に協議を行いました。また、新校の施設整備に 当たっての基本的な視点、方向性等について合わせて説明し、ご意見をいただきました。







通学負担の緩和措置について

第3回協議会では、統合新校の位置について、現在の第十一中学校の校地が望ましいとして教育長へ報 告することを確認したところです。この場合、新校舎建設により第八中学校が統合新校の暫定校舎となる 期間(令和7年度~令和9年度中【予定】)、通学時間が30分を超える地域が生じるため、公共交通機 関の定期代補助等、通学負担の緩和措置を講じることについて、教育長へ報告することを確認しました。

協議会資料や会議録等 は、右のQRコードから ご覧になれます。



新校が目指す学校像・移行期間中の教育活動・交流事業について

新校が目指す学校像等については、第八中学校・第十一中学校の教員と教育委員会の職員で構成する準備組織において、検討を進めています。 第八中学校・第十一中学校における教育活動や、これからの学校教育に求められる新しい学び等を踏まえて、準備組織で検討した目指す学校 像の案を基に協議を行いました。また、令和7年4月の新校開校までの期間に予定する新校の目指す学校像を踏まえた教育活動の段階的な展開 や、両校の生徒たち等による交流活動の想定について協議しました。

第5回協議会では、各委員からいただいたご意見や児童・保護者向けに実施したアンケート結果を踏まえて内容を整理し、引き続き協議をし ていきます。



第八中学校の目指す学校像

○全教職員が人権尊重の精神を基盤にしながら、 活力と魅力に溢れた教育活動を展開し、 生徒が喜んで登校して本校に誇りをもち 保護者や地域から信頼され、教職員が生きがいを感じる学校



第十一中学校の目指す学校像

- ○生徒一人一人の個性・特性を重視し、生徒の活躍する場があり、 学ぶ喜びや自らの良さを伸ばすことができる魅力ある学校
- ○教職員が生徒と共に活動し、活力があり・誇りをもてる学校
- ○家庭・地域との連携を深め、生徒や保護者・地域から信頼される



新校が目指す学校像(案)※第4回協議会時点の案です。

自律的な学びと共創的な活動を通して、未来を切り拓く力を育てる学校

○学びの充実に関する視点

- ・一人ひとりの理解度や特性に応じた学習機会の充実
- ・各教科の学びを生かした探究的な学習の推進
- ・学校の教育力を高める各種教育機関との連携

○豊かな心・健やかな体の育成に関する視点

- ・お互いを大切にする心を育てる人権教育の充実
- ・生徒の主体性を大切にした学校行事の運営
- 生徒自ら健康的な生活習慣の定着を図る取組の充実
- ・ユニバーサルデザインの視点に基づく学習環境の構築

○地域との連携に関する視点

- ・地域との関わりを生かした「小中連携子ども育成プラン」の推進
- ・地域を支える自覚を促す行事への参画
- ・健全育成を推進する学校と地域のパートナーシップの構築

新校の施設整備について

新校の新校舎は建て替えにより整備します。

施設整備に当たっては、目黒区設計標準や文部科学省 の指針等に沿って、新しい時代の学びを実現する学校施 設を目指し、学校、保護者、地域のご意見を踏まえなが ら検討を進めていきます。

令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	
設計者選定	基本構想 基本設計	実施設計	旧校舎解体	・新校舎建設・杉	を 庭整備	

建て替えの流れ(予定)

今後の協議会日程(予定)

月日	協議事項		
8/22(月)	第5回:新校が目指す学校像、 移行期間中の教育活動、交流事業等		
10月	第6回:校名等の課題整理 今後の取組体制、スケジュール等		
11月	第7回:まとめ		

次回の開催予定

令和4年8月22日(月) 19:00~

第八中学校体育館(目黒区碑文谷4-19-25)

※傍聴を希望される方は、事前にお問合せください。

\区立中学校の統合に関するご意見・ご質問等は、学校統合推進課 にお願いします/

